

# 2021 年 度 事 業 報 告 書

## 特定非営利活動法人 I M A G I N U S

### 1 事業の成果

今年度は、受託中の JICA 草の根技術協力事業が再開しオンラインで研修の実施と教科書作成を行った。インドの児童保護事業(ジャグリティ)は学生団体 Smiles Production と共同で運営費を捻出し継続した。また、フィリピンネグロス島で 2 年目の奨学金プログラムは、10 名の山間部の子どもたちとその家族へ支援を行った。また同じ奨学生対象に寄宿舎の建設計画が進んでいる。産品開発事業も行われており、これまで 200 個のハンドメイドバックを製作した。人材育成事業としては、日本人大学生対象にインターンシッププログラムをインド/フィリピンとオンライン接続によって実施した。現地の課題解決のための具体的なアイデアが出され、学生と現地人がデザインしたバックを生産し日本へ送ることができた。次に、災害支援では広島県の豪雨被害に土砂掻き、講演活動を実施し、フィリピンの台風被害への寄付集め並びに物資支援部隊を派遣した。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の 金額 (単位:千円)
人材育成事業	異文化理解プログラムの提供 オンラインでフィリピンの文化紹介や英語でフィリピン人と交流するプログラムを作成した。山口県の高校や企業研修にて本プログラムを活用してもらった。	—	オンライン	1名	10校200人	<b>1,903</b>
	キッズキャンプの開催 アルパ奏者の上之山さんと呼び、音楽・絵本・自然体験を融合させたキッズキャンプを開催した。	8月	広島	4名	大人4名 子ども8名	
	インターン受け入れ フィリピンでの事業においてインターン生をオンラインにて受け入れた。主に現地の奨学金事業や産品開発を現地スタッフと遠隔のやり取りで行った。インド研修へは広島大学生インターンを受け入れた。	8月～ 2月	オンライン (フィリピン・インド)	2名	インターン生 8名	
	古民家を活用した学び作り 月、水、土曜日の11時～15時を開室時間として、図書室の開室、ものづくり体験イベント、電子工作体験イベント、IoT技術を活用した農業体験等を実施した。参加者は地元大学生や地域の方	基本 月～土 随時	国内 (広島)	1名	多数	

	はもちろんのこと、近隣地域や県外からの参加者も多く、年齢層も幼児から高齢者までと、年齢や所属に関係のない学びの場となった。					
国際協力事業	<u>児童保護事業</u> インド西ベンガル州ニュージャールパイグリ駅周辺の女兒を保護するためのシェルターの運営。	通年	インド	現地スタッフ2名 日本人スタッフ2名	施設利用者数 延べ150名	<u>6,485</u>
	<u>NGOへのキャパシティ・ディベロップメント研修事業</u> JICA 草の根技術協力事業の受託。コロナの影響で昨年度は休止していたが、今年度から再開。オンラインにて研修を実施した。また、教科書を作成した。	6月～	インド	現地スタッフ2名 日本人スタッフ4名	NGO関係者20名+教師12名	
	<u>奨学金支給と村落開発事業</u> フィリピンネグロス島における奨学金プログラムは2年目。コロナの影響で学校が再開されないため、10世帯の子どもとその家族へ食料や生活用品の支給を行なった。	通年	フィリピン	現地スタッフ2名 日本人スタッフ2名	10名の子どもとその家族	
	<u>研究活動</u> 依頼を受けてフィリピンの数学教育について調査を実施した。	—		—	—	
ボランティア活動事業	<u>災害時ボランティア活動</u> 夏季に広島市広域で豪雨が発生。学生ボランティアの2団体とともに被災現場へ入り、土砂掻きボランティアを実施した。	通年	国内（広島）	2名	学生団体1団体	<u>1,500</u>
	<u>防災啓発活動</u> 学生団体や日本防災士会と協力した展示会、修学旅行の事前学習での講演など。					
	<u>フィリピンの台風被害復興支援</u> 12月にフィリピンに直撃した台風によって多くの家屋がダメージを受けた。当法人で寄付を集め現地にて物資支援等を行った。	12月～	フィリピン	2名		
上記事業に関連した情報提供	団体ホームページの運営	通年	ネット上	2名	ホームページ	<u>上記事業費内に含まれる</u>
	活動報告会 広報誌の発行	12月 4月	広島	3名	参加者	
その他の事業	実施なし	—	—	—	—	<u>0</u>

